



満開の笑顔に誘われて



4月1・2日、市内3会場で「さくらまつり」が開催されました(鴻巣・川里会場は2日のみ開催)。特に2日は快晴で、お花見を楽しむ皆さんの満開の笑顔に誘われ、3分咲き程度だった桜が徐々に開花し、午後には色鮮やかに輝いていました。

今年の桜はいつもより長く咲き、さくらまつりの後も、公園で遊ぶ子どもたちやウォーキングをする皆さんの目を楽しませてくれました。



▲吹上会場(元荒川) 来場者約3万人(2日間)



▲鴻巣会場(鴻巣公園) 来場者約2万人



▲川里会場(あかぎ公園) 来場者約8,200人

子どもたちの健やかな成長を願い

4月19日、鴻巣ひな人形協会(会長=関口典宏さん・写真左)から、新しいこいのぼり一式を寄贈いただきました。これまで10年間使われていたものから2代目となるこいのぼりは、端午の節句にあわせ本庁舎前に掲揚され、優雅に空を舞いました。写真は長さ3mの子鯉で、真鯉は6mあります。



大切な命を守るために

4月5日、クレアこうのすにおいて、交通安全マスコット「無事カエル」の贈呈式が行われました。このマスコットは交通安全母の会の皆さんが児童の安全を願い、1つ1つ心を込めて作成したものです。昭和61年(1986年)から毎年、市内の新小学1年生に贈られており、今年度は955個作成いただき、教育委員会を通じて子どもたちに手渡されました。



地方創生に係る協定を締結

3月27日、埼玉県信用金庫と地方創生に係る包括連携に関する協定書を締結しました。地方創生の実現のために、安全・安心な地域づくりをはじめ、さまざまな分野にわたる連携・協力を図ります。



翌6日にはエルミパークで「春の全国交通安全運動出発式」が行われ、式典後は鴻巣高校プラスバンド部の演奏にのせて、交通安全パレードが行われました。1人ひとりが交通安全に努め、悲惨な交通事故を根絶しましょう。



色とりどりのチューリップ



▲ふれあい動物園

4月8・9日、花のオアシスでチューリップまつりが開催されました。イベント当日はあいにくの雨でしたが、約1,000人の来場者は、赤見台第一小学校3年生や市民ボランティアの皆さんが植えた35,000球を超えるチューリップを楽しみました。冬場の降水量が少なかったため、背丈が低く生育が心配されましたが、小さいながらも赤・黄・白など色とりどりの花が咲きました。

球根掘り出し体験

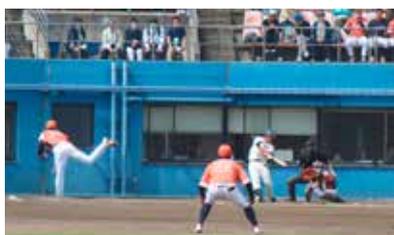
とき／6月3日(土)9時～(整理券配布8時～、受付8時30分～) ※荒天の場合は6月10日(土)9時～に延期
 ところ／花のオアシス(寺谷地内・市民農園隣)
 定員／200人(先着順) ※球根植えの際にお渡しした優待券をお持ちの方を除く
 費用／500円(貸出バケツ1杯)
 持ち物／作業しやすい服装・長靴・軍手等 ※バケツとスコップは貸出します 申込み／当日
 問い合わせ／花のオアシス推進運営協議会事務局(観光戦略課内・内線3100)

フラワースタジアムで勝利！ 武蔵ヒートベアーズ

4月16日、フラワースタジアムでプロ野球独立リーグ(BCリーグ)公式戦(武蔵ヒートベアーズvs新潟アルビレックスBC)が行われ、6対3で武蔵ヒートベアーズが勝利しました。

フラワースタジアムは武蔵ヒートベアーズの公式戦試合球場として活用されています。

今後の試合日程は市ホームページをご覧ください。



▲1回裏、ヒット量産で4点獲得

楽しくボールを追いかけて ジュニアサッカースクール

3月26日、上谷総合公園サッカー場でジュニアサッカースクールが開催され、大宮アルディージャのコーチがサッカーの楽しさを教えてくれました。

幼児から小学生まで120人が参加し、小雨に負けない元気な掛け声がグラウンドに飛び交いました。



新たに手話通訳者が誕生

4月8日、市内在住の中谷真理さん(写真左)と佐藤初美さん(写真右)が鴻巣市手話通訳者に認定されました。

聴覚に障がいのある方々が地域等における社会生活で円滑なコミュニケーションが図れるよう、今後の活躍を期待しています。



100歳！ますますお元気で

100歳を迎えられた吉澤富美さん(大正6年3月26日生・北新宿)、木下はふさん(大正6年4月1日生・箕田)をお祝いしました。健康長寿は市民みんなの願いです。5月1日現在、市内で100歳以上の方は49人います。これからもどうぞお元気で。



吉澤 富美さん



木下はふさん